



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員オペレーション (氏名) 巖 友弘 TEL 011-633-1030
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無 (動画(録画)配信予定)

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	129,371	6.0	1,099	44.9	1,716	25.4	1,401	17.7
2022年3月期第2四半期	122,032	4.0	759	13.3	1,369	12.1	1,190	57.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,705百万円 (0.8%) 2022年3月期第2四半期 1,691百万円 (0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	62.94	—
2022年3月期第2四半期	52.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	140,586	56,650	40.3	2,578.19
2022年3月期	136,883	55,543	40.6	2,460.67

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 56,638百万円 2022年3月期 55,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.50	—	9.50	17.00
2023年3月期	—	7.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,000	△0.1	2,100	△1.5	3,150	△7.7	2,300	△18.0	101.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	24,400,000株	2022年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,431,862株	2022年3月期	1,832,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	22,263,122株	2022年3月期2Q	22,866,474株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに対する行動制限が緩和されるなど、経済活動の持ち直しの動きが見られましたが、不安定な国際情勢および原材料価格や物流コストの高騰により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、薬局事業ではグループ4社（株式会社パルス、北日本調剤株式会社、株式会社メイプルファーマシー、株式会社カエデ）を統合して10月より「株式会社そえる」を設立し、企業理念を、「わたしたちは、総合ヘルスケア企業グループの一員として地域のみなさまに寄り添い、毎日が笑顔にあふれる薬局づくりをめざします。」として、株式会社ほくやく・竹山ホールディングスの連帯力やシナジーを活かしつつ変動する事業環境の変化に対応できるよう強靱な経営体質を持った会社へと生まれ変わるため、新たにスタートいたしました。介護事業の株式会社モルスでは、2023年3月完成を目指して、札幌市中央区に看護小規模多機能事業所を併設したサービス付き高齢者向け住宅の建築をしております。また、帯広市で計画中の「とちろジロスティクスセンター」のプロジェクトも引き続き進めております。

以上の状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,293億71百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は10億99百万円（同44.9%増）、経常利益は17億16百万円（同25.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億1百万円（同17.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

（医薬品卸売事業）

医薬品卸売事業におきましては、2022年4月に診療報酬改定ならびに薬価引き下げが実施されました。新型コロナウイルス感染拡大防止による受診抑制は緩和傾向にありますが、営業活動の制限は現在も続いております。また、長期取藏品の売上減少に加え、後発医薬品における供給面での混乱が未だに継続している状況です。このような厳しい環境ではありますが、新型コロナ関連商品の売上増加と抗がん剤など新薬の販売にも積極的に取り組んだ結果、売上全体では前年を上回る結果となりました。また、利益については、品目ごとのきめ細かい価格管理に取り組んだ結果、売上増の影響もあり増益となりました。

その結果、売上高は922億60百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は3億47百万円（同207.2%増）となりました。

（医療機器卸売事業）

医療機器卸売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響も残るなか、4月の診療報酬改定による償還価格の引き下げもありましたが、新築移転案件を含む大型機器および新型コロナ補正予算等による感染症関連機器の需要もあり、売上につきましては前年を上回る結果となりました。利益につきましても消耗品ならびに備品関連の売上増加に伴い増益となりました。

その結果、売上高は329億64百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は7億77百万円（同35.6%増）となりました。

（薬局事業）

薬局事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は、落ち着く傾向にあり処方箋枚数は前年対比で3.5%増加しましたが、2022年4月の薬価引き下げにより、処方箋単価が低下したため売上は、ほぼ横ばいとなり、利益は前年度を大きく下回りました。

その結果、売上高は67億16百万円（前年同期比0.1%減）、営業損失は40百万円（前年同期は40百万円の営業利益）となりました。

（介護事業）

介護事業におきましては、福祉用具のレンタル・販売および住宅改修と介護ロボットの普及推進における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上・利益ともに安定的に推移しました。サービス付き高齢者向け住宅の部門におきましては、新型コロナウイルス感染症対策として入館規制や手指消毒などを徹底しており、入居者数は安定し訪問介護・看護部門での売上も順調に推移しました。

その結果、売上高は19億90百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は1億72百万円（同9.3%増）となりました。

（ICT事業）

ICT事業におきましては、急激な円安による製品価格の高騰や、半導体不足による製品供給の遅延などのマイナス要因もありましたが、コンピュータ機器等の販売は堅調に推移し、売上は前年度を上回りました。しかし、大型開発案件のスケジュール見直しにより、製造原価が上昇したため、利益は減少いたしました。

その結果、売上高は8億48百万円（前年同期比25.7%増）、営業利益は20百万円（同26.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結結果計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,405億86百万円（前連結会計年度末は1,368億83百万円）となり、37億2百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が28億78百万円、商品及び製品が10億38百万円、建物及び構築物が17億18百万円増加した一方、建設仮勘定が19億67百万円減少したことによるものです。

負債は839億35百万円（前連結会計年度末は813億40百万円）となり、25億95百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が30億98百万円、賞与引当金が1億60百万円増加した一方、未払法人税等が83百万円、役員賞与引当金が73百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、566億50百万円（前連結会計年度末は555億43百万円）となり、11億6百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が11億86百万円、その他有価証券評価差額金が2億92百万円増加した一方、自己株式の取得により3億83百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結結果計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億13百万円増加し、214億4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10億69百万円（前年同期比65.3%減）となりました。これは、増加要素として税金等調整前四半期純利益21億4百万円（同23.6%増）、減価償却費5億27百万円（同0.9%減）、仕入債務の増加30億98百万円（同42.8%増）、未収入金の減少7億15百万円（同596.4%増）などがありましたが、減少要素として売上債権の増加28億43百万円（同636.4%増）、棚卸資産の増加10億47百万円（同60.1%増）、未払消費税等の減少2億70百万円（前年同期は36百万円の増加）、法人税等の支払7億13百万円（前年同期は69百万円の還付）があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億22百万円（前年同期比45.4%減）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得により6億26百万円（同27.3%減）、投資有価証券の取得により68百万円（同134.8%増）の支出があった一方、投資有価証券の売却により5億66百万円（同3.2%増）の資金を獲得したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は6億33百万円（前年同期比2.3%減）となりました。これは主に、自己株式の取得3億83百万円（同13.0%減）、配当金の支払2億14百万円（同23.4%増）およびリース債務の返済34百万円（同4.9%増）があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,091	21,404
受取手形及び売掛金	52,740	55,619
商品及び製品	15,974	17,012
仕掛品	3	12
その他	7,706	7,121
貸倒引当金	△20	△13
流動資産合計	97,495	101,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,844	9,563
土地	9,421	9,475
建設仮勘定	2,301	334
その他（純額）	852	868
有形固定資産合計	20,420	20,241
無形固定資産		
のれん	1,069	1,014
ソフトウェア	541	473
その他	186	280
無形固定資産合計	1,797	1,769
投資その他の資産		
投資有価証券	15,475	15,846
長期売掛金	109	104
長期貸付金	393	350
繰延税金資産	574	507
退職給付に係る資産	1	2
その他	738	719
貸倒引当金	△123	△111
投資その他の資産合計	17,170	17,418
固定資産合計	39,388	39,429
資産合計	136,883	140,586

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,627	74,391
電子記録債務	2,231	2,565
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	885	801
賞与引当金	860	1,020
役員賞与引当金	131	57
その他	2,477	2,010
流動負債合計	78,214	80,848
固定負債		
長期借入金	16	15
繰延税金負債	1,510	1,497
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	367	337
長期未払金	397	389
資産除去債務	488	493
その他	224	232
固定負債合計	3,125	3,087
負債合計	81,340	83,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	38,965	40,152
自己株式	△1,325	△1,709
株主資本合計	50,461	51,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,909	6,202
土地再評価差額金	△742	△742
退職給付に係る調整累計額	△96	△86
その他の包括利益累計額合計	5,070	5,373
非支配株主持分	11	12
純資産合計	55,543	56,650
負債純資産合計	136,883	140,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	122,032	129,371
売上原価	112,904	119,667
売上総利益	9,127	9,703
販売費及び一般管理費		
荷造費	544	535
給料	3,790	3,883
賞与引当金繰入額	846	865
役員賞与引当金繰入額	56	56
退職給付費用	178	187
法定福利及び厚生費	784	784
賃借料	143	144
その他	2,023	2,146
販売費及び一般管理費合計	8,368	8,603
営業利益	759	1,099
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	149	156
受取事務手数料	273	279
不動産賃貸料	67	71
持分法による投資利益	55	54
貸倒引当金戻入額	38	17
その他	108	107
営業外収益合計	695	689
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	53	58
遊休資産諸費用	12	8
その他	19	6
営業外費用合計	85	73
経常利益	1,369	1,716
特別利益		
固定資産売却益	51	—
投資有価証券売却益	359	389
特別利益合計	411	389
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	75	1
減損損失	2	—
特別損失合計	77	1
税金等調整前四半期純利益	1,702	2,104
法人税、住民税及び事業税	877	788
法人税等調整額	△366	△86
法人税等合計	510	702
四半期純利益	1,191	1,402
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,190	1,401

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,191	1,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	492	292
退職給付に係る調整額	8	9
その他の包括利益合計	500	302
四半期包括利益	1,691	1,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,690	1,704
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,702	2,104
減価償却費	532	527
のれん償却額	55	54
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	△17
受取利息及び受取配当金	△151	△158
支払利息	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△55	△54
固定資産売却損益 (△は益)	△51	0
固定資産除却損	75	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△359	△389
減損損失	2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△386	△2,843
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△654	△1,047
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,169	3,098
未払消費税等の増減額 (△は減少)	36	△270
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	161	160
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△67	△73
未収入金の増減額 (△は増加)	102	715
預り金の増減額 (△は減少)	△31	△34
その他	△164	△136
小計	2,860	1,620
利息及び配当金の受取額	151	162
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	69	△713
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,081	1,069
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△790	△463
有形固定資産の売却による収入	186	—
無形固定資産の取得による支出	△72	△163
投資有価証券の取得による支出	△29	△68
投資有価証券の売却による収入	548	566
貸付金の回収による収入	8	8
その他	△75	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	△0
自己株式の取得による支出	△441	△383
配当金の支払額	△173	△214
リース債務の返済による支出	△32	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△648	△633
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,209	313
現金及び現金同等物の期首残高	20,434	21,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,643	21,404

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売 事業	医療機器卸 売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	82,763	30,431	6,714	1,874	217	30	122,032
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,480	237	7	5	457	991	6,180
計	87,244	30,669	6,721	1,880	675	1,022	128,213
セグメント利益	113	572	40	157	28	345	1,258

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,258
セグメント間取引消去	△422
のれんの償却額	△46
棚卸資産の調整額	△29
四半期連結損益計算書の営業利益	759

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	87,710	32,713	6,710	1,988	217	30	129,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,549	251	6	1	631	1,572	7,012
計	92,260	32,964	6,716	1,990	848	1,602	136,383
セグメント利益又は損失(△)	347	777	△40	172	20	910	2,188

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,188
セグメント間取引消去	△1,010
のれんの償却額	△46
棚卸資産の調整額	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	1,099

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。